



輝き



～「Open Share そして Team で」～
令和5年 3月 1日 三木市立三木特別支援学校

「おおきくなるっていうことは」

～「別れ」と「出会い」の季節を迎えて～

陽射しに春の気配を感じるようになりました。

小学部6年生、中学部3年生は進学を、そして他の子どもたちも進級の季節を迎えます。別れと新たな出会いの季節でもあります。

2月の児童生徒集会で「じぶんだけのいろ～いろいろさがしたカメレオンのはなし～」(レオ・レオニ作・絵)の読み聞かせをしました。じぶんだけのいろを探すひとりぼっちのカメレオンが仲間に出会い、仲間とともに色が変わって日々を重ねていく…で終わるストーリーです。子どもたちの「自分らしさ」「好き」「得意」「友だちと生活する楽しさ」等と重なります。

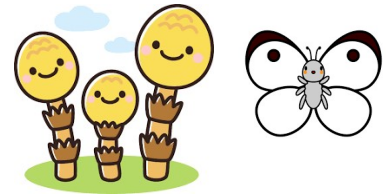
もう1冊、本校着任以来、毎年3月に読み聞かせをしている絵本があります。「おおきくなるっていうことは」(中川ひろたか 文 村上康代 絵)です。



「おおきくなるっていうことは…」というリード文に続いて、様々な「おおきくなること」が登場します。例えば、
・ようふくがちいさくなること
・あたらしい歯がはえること
・大丈夫かどうか考えること…等

ひなたぼっこ つくし てるお

くりくりあたみに
おひさまあびて いいきもち
はかまを くすぐって
はるかぜが とおりぬけ
ぼくはちよっぴり せがのびた
ねっこふんばり むねをはり
もんしろちょうに きいてみる
「ね、ぼく いいおとこ？」



くどうなおこ「のはらうた」より

「自分より小さな人が多くなること」「小さな人にやさしくなれること」と結んであります。

私の大好きな2冊です。機会があれば手にとってみてください。

また1月末に地域校交流で緑中生徒と[SDG'sのものづくり][スナッグゴルフ]を行いました。実施後の感想に「いろいろな個性の子がいて楽しかった。」「[みんなで一緒に活動すれば楽しくなる。][ボールがゴールしたときは、みんなで入れたという達成感があった。][普段していること見ていることがあたりまえでないと知りました。][驚いたこともあったけど先生方のサポートに尊敬。自分も…。]等々ありました。短い時間の交流でしたが、その中で各々に残ったものを次につなげてほしいと願っています。

今年度「Open Share そして Team で」を合言葉に、「ドア、情報、心」を開き、目標や支援方法はもとより嬉しいこと、しんどいこともチームで共有し、前に進んでいく学校づくりを目指して日々を重ねて参りました。

子どもたち一人ひとりが、そして私たち大人も、ふんばり胸をはりながら「ね、ぼく いいおとこ？」と言い合える1年になっていたとしたら嬉しく思います。多くの皆様、様々な視点から本当にお世話になりました。厚く感謝申し上げますとともに、残り1か月、変わらぬ毎日が過ごせるよう、職員一同、力をあわせて日々の教育活動に取り組んで参ります。

卒業後にも使える力、生涯学習につなげるには好きなものから始まる「楽しい」「やりたい」だとか
「さあて、明日、子どもたちと一緒に何をしようかな？楽しみ！楽しみ」 (校長 佐野 順子)